

2019年 安全報告書



 北陸鉄道株式会社

目次

1.ごあいさつ	3
2.基本方針と安全目標	4
3.当社の安全管理体制	5
4.事故等の発生状況とその再発防止措置	6
5.輸送の安全確保のための取り組み	7
6. 地元の皆さまとの連携とお願い	12
7.連絡先	12

1. ごあいさつ

平素は当社鉄道事業に対しまして、ご利用ならびにご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社では、運転安全規範において「安全の確保は輸送の生命である」と定め、安全最優先とした方針を基に取り組んでおります。本報告書は鉄道事業法に基づき、鉄道輸送の安全に関する取り組みについてまとめたものです。

平成30年度は、前年に引き続き鉄道施設総合安全対策事業および地域公共交通確保維持改善事業費補助金制度を活用した老朽化設備の更新や、鉄道係員の運転事故防止訓練の実施など、運転事故防止に向けて取り組んでまいりました。これからも職員一同、より一層の安全性とサービス向上に努めてまいります。

なお、平成30年度は、各種企画電車の設定・販売強化や沿線のイベントに積極的に参画することで、鉄道線の魅力発信と増収活動を展開し、年間で前年度を上回る308万人のお客様にご利用いただきました。

今後とも鉄道線のご利用とご愛顧をお願い申し上げます。

北陸鉄道株式会社

代表取締役社長 加藤敏彦

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

安全輸送を第一に掲げ、法令を遵守し誠実に事業に取り組めます。また、地域の発展や環境保全に貢献してまいります。

1. 『安全輸送の完遂』

サービスの原点は安全輸送

運転安全規範

綱領

- (1) 安全の確保は、輸送の生命である。
- (2) 規程の遵守は、安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

平成30年度は列車事故（衝突、脱線、火災）・鉄道人身事故0を目指し達成しました。本年度も過去の事故等を教訓に、社長以下職員一同無事故達成に取り組んでまいります。

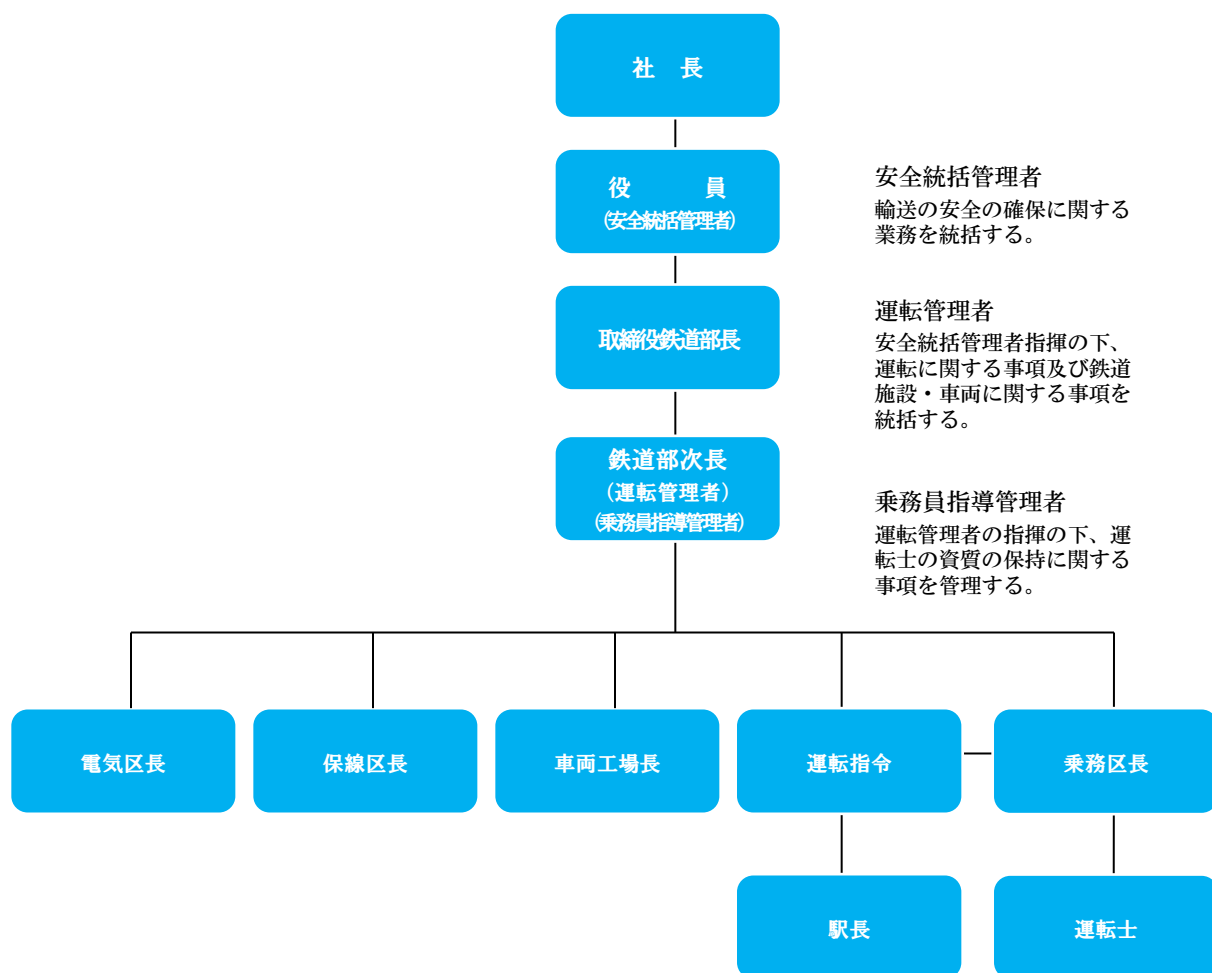
区分	項 目	目標値
数 値 目 標	列車事故 (衝突・脱線・火災)	「0」
	鉄道人身事故	「0」

3. 当社の安全管理体制

(平成30年6月現在)

■安全管理体制

平成18年10月に安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者等の管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っております。



■情報の共有化と安全意識の高揚

毎月上旬に経営トップを中心に構成された『安全推進委員会』を定例開催し、安全に係わる情報の共有化と、事故防止に向けての取り組みについて意見交換を行っております。

4 . 事故等の発生状況とその再発防止措置

発生状況（平成30年4月から平成31年3月末まで）

（1）鉄道運転事故

列車脱線・衝突・火災など

発生件数 0件

（2）災害〔雪害や雷害等〕

雪害や雷害等の影響による運休

発生件数 0件

（3）輸送障害（30分以上の遅延や運休）

発生件数 5件

人身障害 0件

踏切障害 0件

その他 5件

30年度は、輸送障害が5件発生しました。

うち1件は車両故障による遅延が発生したもので、ご利用の皆様にご迷惑をおかけしました。再発防止対策を徹底してまいります。残る4件につきましては、水害や風害、線路内に自家用車が進入したことにより運休が発生したものです。

（4）インシデント（事故の兆候） 1件

石川線馬替1号踏切道において、警報遮断動作していない踏切を列車が通過する事象が発生いたしました。発生当時、幸いにも通行者等はいませんでした。再発防止対策を徹底してまいります。

（5）行政指導等

平成30年度はございませんでした。

5. 輸送の安全確保のための取り組み(1)

(1) 安全重点施策

当社では、「輸送の安全確保」を維持するために、鉄道施設の改良・改善施策を実施しております。

- ① 踏切道保安設備の整備
- ② 線路の重軌条化

(2) 教育・指導

知識・技能向上のため計画的教育訓練の実施

- ① 年2回以上の運転事故防止教習の実施
- ② 乗務員に対する再教育（事故再発防止）の実施
- ③ ヒューマンエラー防止への取り組みの実施
- ④ ヒヤリハット・事故の芽、情報等の収集

(3) 緊急時の対応訓練

- ① 北鉄金沢駅の消防設備取扱と避難誘導訓練の実施
- ② 心肺停止時の救急法研修会の実施



運転事故防止教習



心肺停止時の救急法研修会

5. 輸送の安全確保のための取り組み(2)

(4) 安全性向上に向けての設備投資

平成30年度は安全性の維持・向上を目的とし、鉄道営業収入555百万円に対して33百万円を保安防災対策費に充てました。また、鉄道施設総合安全対策事業および地域公共交通確保維持改善事業費補助金制度を活用して289百万円を充て、老朽化した施設の改修・更新を行いました。

① 信号保安設備

・連動装置

浅野川線 北鉄金沢駅～上諸江駅間で、老朽化した駅間軌道回路装置（分倍周機器等）の更新を行うことで、正常列車運行の確保に努めました。

② 保安通信設備

・列車無線設備

浅野川線の列車無線を新スプリアス規格対応へ更新し、合わせて防雪型アンテナとすることで、積雪による通信障害への対策も図りました。



北鉄金沢駅～上諸江駅間
分倍周・インピーダンスボンド更新



浅野川線 列車無線設備

5. 輸送の安全確保のための取り組み(3)

③ 線路設備

・ レール

石川線 新西金沢駅～押野駅間・鶴来駅構内・浅野川線 七ツ屋駅～上諸江駅間で重軌条化を目的としたレール交換 および分岐器更新、道床交換を行いました。

・ マクラギ

石川線 曾谷駅～道法寺駅間で、老朽化したコンクリートマクラギの更新を行いました。

・ 橋梁

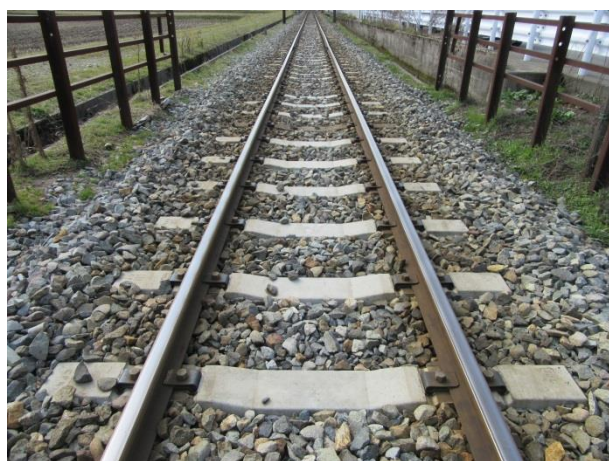
老朽化対策事業を活用し、石川線 伏見川橋梁・住吉川橋梁の改修を行いました。



鶴来駅構内 レール・道床交換



鶴来駅構内 分岐器交換



曾谷駅～道法寺駅間 マクラギ更新



石川線 住吉川橋梁

5. 輸送の安全確保のための取り組み(4)

④電路設備

・電柱

石川線 鶴来駅構内で、老朽化により傾斜した電柱を更新し、保安度向上に努めました。

・き電線

石川線 鶴来駅構内、浅野川線七ツ屋駅～割出駅間で、経年劣化したき電線を更新しました。浅野川線では、断面積を増加して更新することで、末端での電圧降下の改善を図りました。

・電車線・吊架線

石川線 乙丸駅～曾谷駅間、浅野川線 七ツ屋駅～三口駅間で、摩耗したトロリ線を断面積を増加して更新し、自動張力調整装置を未設置な個所へ設備することで、等高等張力も備えた良好な架設状態としました。

・配電線

石川線 日御子駅～鶴来駅間で、電柱建替に伴って高圧配電線の張替も行い、線区全体を絶縁電線化とし、保安度向上に努めました。



鶴来駅構内 電柱更新



七ツ屋駅～割出駅間 き電線更新

5. 輸送の安全確保のための取り組み(5)



七ツ屋駅～三口駅間 電車線更新



日御子駅～鶴来駅間 配電線更新

⑤車両設備

・集電装置

石川線の旅客車両3編成で、菱形パンタグラフからシングルアーム式パンタグラフに更新し、冬期の着雪等による設備故障や車両故障の抑制を図りました。

・A T S 車上設備

浅野川線所属車両10両のA T S 車上装置を更新しました。



石川線 集電装置更新



浅野川線 A T S 車上装置更新

6. 地元の皆さまとの連携とお願い

平成30年度も踏切道で、遮断竿を折損する障害が発生しました。踏切道を通過する際は、一旦停止と左右の安全確認をお願いいたします。

また、線路内での置石も発生しています。ひとつ間違えれば列車脱線事故となりますので、発見された場合は直ちに下記に連絡をお願いします。

石川線 (運転指令) TEL 076-272-0109

浅野川線 (運転指令) TEL 076-238-3001

7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

北陸鉄道(株) 鉄道部

TEL 076-272-2221